

研究報告書

学校名 恩納村立安富祖小学校

I. 研究主題

「ふるさとの良さに気づき、守り継承する児童の育成」
～海の豊かさ（14番）と陸の豊かさ（15番）を守る活動を通して～

II. 主題設定の理由

今、世界各国では、様々な問題が生じており、中でも、地球温暖化や気候変動、生物多様性の喪失は国際的な問題です。子どもたちがそれらの社会問題に対し、向き合うことができるようになるためにも、学校で SDGs に取り組むことは、子どもたちの将来につながり持続可能な未来を築く重要なステップであるといえます。

学習指導要領において学校は、一人一人の児童が、自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

恩納村は、2018年に「サンゴの村宣言」を発表し、2019年に「SDGs 未来都市」に選定されました。本村の美しい自然環境は欠かすことのできない基盤となっています。このように、私たちは改めて自然の恩恵なしでは生きていけないことを認識するとともに、自らの生活様式や社会経済活動の在り方を見つめ直し、行政・村民・事業者が一体となった、環境負荷が少ない持続的発展が可能な社会の構築に向け、自然環境に優しい地域づくりをめざしています。子供たちには、持続可能な社会の創り手として、受け身ではなく、主体的・創造的な活躍が期待されています。

そこで本校では、SDGs を学ぶことは「生きる力を育むこと」「未来の地球人を創る教育」という考えのもと、全科目・カリキュラム・学校行事など、あらゆることに SDGs の 17 項目と結びつけ、学ぶ目的を明確にし、問題意識と解決に向けた意欲向上を目指しています。ふるさとの素晴らしさと変わりゆく自然環境を自分事として捉え、故郷の良さを守り、環境にやさしい社会を築くために、その解決に向けて自ら行動を起こす力を身につけると考え、本テーマを設定しました。

III. 研究実践の主な内容

1. 研究方針

- （1）研究主題や研究内容について、全職員と共通理解を図ることで、「生活科」や「総合的な学習の時間」を中心とする全科目・カリキュラム・学校行事での実践を行う。
- （2）児童が常に自分事として捉えられるように、地域人材や地域の自然環境を積極的に活用することで、身近な課題を見つけ、テーマ設定していく。

2. 活動内容

	活動内容
3月	・田植え【3～5年】（地域：當山幸弘さん）
4月	・浜下り【全学年】（地域：海の案内人→兼箇段さん、佐渡山さん） ・サングァチグァーチ作り【4年】（地域：當山さん、佐渡山さん） ・なかよし班（たてわり班）顔合わせ【全学年】
5月	・ビーチクリーン【全学年・親子】（熱田ビーチ） ・なかよし班での遊びスタート【全学年】 ・校区めぐり【3年生】 （地域おこし協力隊：中村朋子さん、恩納村博物館：崎原恒寿さん） ・味覚の授業【5年】（恩納村：當山シェフ）
6月	・ゴミ処理場見学【4年】（中部北環境施設組合） ・歯磨き指導【1・2年】（地域：富島みきさん、かわうちしほさん） ・平和学習【5・6年】（恩納村史編さん室：瀬戸さん） ・サンゴ学習【5年】（美ら海教育学校） ・環境学習【1・2年】（子供の国・沖縄地域環境センター） ・サンゴのお話【3年】（琉球大学 土屋誠教授） ・議場見学【6年】（恩納村役場） ・福祉学習①【4年】（恩納村社会福祉協議会） ・平和集会【全学年】（恩納村：仲井間小夜子さん） ・シュノーケル体験【5年】（美ら海教育学校）
7月	・県民の森、虫取り【1・2年】 ・恩納村めぐりバスツアー【3年】 （地域おこし協力隊：中村朋子さん、恩納村博物館：崎原恒寿さん） ・福祉学習②【4年】（恩納村社会福祉協議会） ・稲刈り【4～6年】（地域：當山幸弘さん） ・防災学習【4年】（名嘉真公民館） ・カヤック体験【6年】（美ら海教育学校）
夏休み	・校内研：海洋研修「サンゴの生態系」「シュノーケル講習」 （美ら海教育学校） ・校内研：ESD カレンダー作成、見直し
8・9月	・SDGs 出前講座【全学年】（琉球大学 土屋誠教授） ・サンゴ観察学習【6年】（ダイビングサービス ラグーン）

	・赤土流出防止教室【5年】(恩納村役場：稲嶺さん) ・琉歌教室【3～6年】(長嶺八重子先生) ・お米販売【1・2年】 ・黒糖アガラサー作り【環境クラブ】 (地域：當山きみこさん、當山すみこさん) ・福祉学習③【4年】(恩納村社会福祉協議会) ・ものづくり体験【5・6年】(県内の置職人) ・養殖学習【5年】(恩納村漁業協同組合)
10月	・カーボンニュートラルについて【5年】(沖縄トヨタ自動車) ・県民の森でハイキング【環境クラブ】 ・ベチバー綱引き大会【5・6年】 (恩納村役場、ヒルトン沖縄北谷リゾート) ・運動会【全学年】 ・職業人講話【6年】(アクトシリカ 新城さん) ・職業人講話【5年】(拓南製鐵 山内さん)
11月	・赤土流出防止教室【5年】(うんな中3年生) ・海洋博記念公園見学【1・2年】 ・ベチバー刈り【5年】(恩納村役場：稲嶺さん) ・福祉学習④【4年】(名嘉真公民館) ・琉球村見学【3年】
12月	・安富祖っ子文化祭【全学年】 ・ベチバークラフト作り【5年】(地域：當山さん、池宮城さん) ・蜜蝋でキャンドル作り【5年】(OISTの学生さん) ・平和学習フィールドワーク【6年】(恩納村史編さん室：瀬戸さん) ・廃材を使ったおもちゃランド【1・2年】(安富祖保育所)
1月	・ムーチー作り【1・2年】(地域：佐渡山和美さん 當山ミツさん) ・松ぼっくりひろい【1・2年】(県民の森) ・職場見学・体験【5・6年】(ヒルトン沖縄北谷リゾート) ・ビーチクリーン【全学年】(熱田ビーチ) ・海洋ゴミについて【5年】(しまぬわ：津波駿佑さん) ・水中カメラマンのお話【5年】(水中カメラマン：上地一輝さん) ・名嘉真区産業まつり参加【3・4年】 ・地域めぐり【3年】(恩納村博物館：後藤さん)
2月	・春みつけ【1・2年】(県民の森) ・キャリアデー(職業人講話・体験)【全学年】
3月	・田植え【3～5年】(地域：當山幸弘さん)

3. 研究実践例

(1) 全児童での取り組み

(1) 浜下り(4月)



スクールプラン『協働』

「浜下り(はまうり)」とは、旧暦の3月3日に行われる女性の祭事で、干潮に合わせて浜へ降り、潮干狩りを楽しむ行事です。本校でも、学校のすぐ側の熱田ビーチで、海の案内人(地域の方)に生き物についてお話をしてもらったあとに、浜遊びを全児童で楽しみました。

また、浜下りの時に作られる伝統お菓子の「三月菓子」を4年生が地域の方に教わりながら作り、浜下りが終わった後にみんなで食べました。



(2) ビーチクリーン (5月、1月)



スクールプラン『協働』

年に2・3回、熱田ビーチのビーチクリーンをしています。今回は、日曜参観に合わせて、親子での取り組みとなりました。ペットボトルやプラスチック製品、バーベキューをした後のゴミなど、様々なゴミを回収しました。

回収後、高学年がゴミを分別しながら、どのようなゴミが多いのかなどを把握し、今後の活動に生かしていきます。

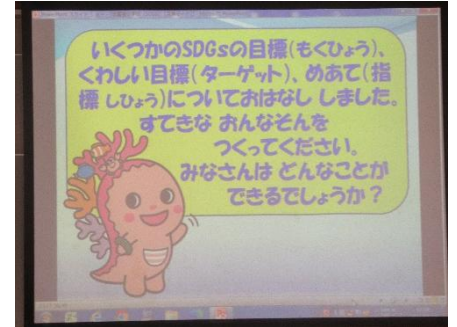
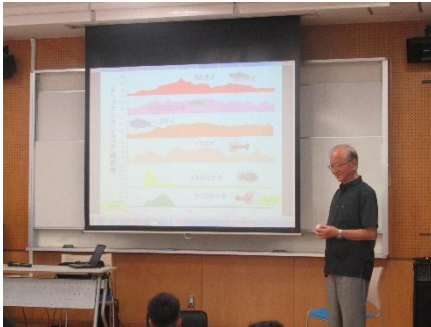


(3) SDGs講話(8月)

スクールプラン『自律』



土屋誠先生(琉球大学教授)をお招きして、「すてきな恩納村～SDGsについて～」の講話をして頂きました。SDGsとは何か、恩納村のすてきな環境を守るために、どんなことができるか等を考える学習でした。



(4) 稲作体験

(3月～9月)
スクールプラン『創造』



安富祖区は、恩納村で唯一の水田があります。地域の方に協力してもらい、毎年稲作体験をさせてもらっています。今年は、3月に田植えをし、追肥などを行い、7月に稲刈りをしました。その後、脱穀・精米を地域の方にお願いし、販売用のお米を準備しました。

収穫したお米は、「あふそ米」として、学校や役場で販売し、保護者や地域の方に食べてもらいました。子ども達も、自分たちのお米を実際に食べ、今年のお米を味わっていました。



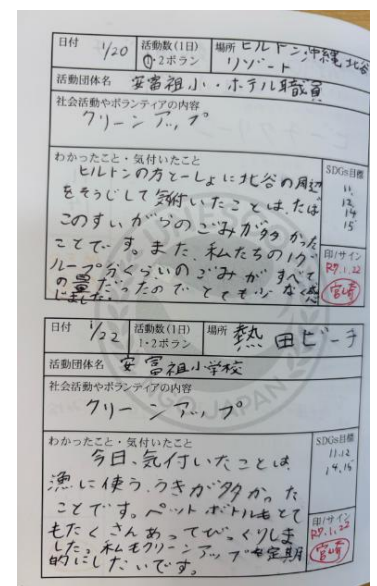
スクールプラン
『創造』

自分が見つけた SDGs を写真に撮り、みんなに伝えたいメッセージを添えて展示しました。一人一人の観点で、様々な SDGs を見つけていました。その中でも、6年生の漢那海光さんが「SDGs フォトコンテスト(主催:JICA 沖縄)」の準優秀賞に入賞しました。



このことから、全部の学校から暴力やいじめをなくすためにこの活動をみなさんもまねして見ませんか？

「SDGsパスポート」とは、平和で持続可能な社会を実現するために未来を担う児童生徒のボランティア活動を応援するものです。今年度から安富祖小学校でも、ビーチクリーンに取り組んだことや、個人でボランティア活動に取り組んだことなどをSDGsパスポートに記入し、記録として残していきました。



(7) なかよし班

(年間)

スクールプラン『協働』



1年生から6年生までを6つのグループに分けた縦割り班の活動、「なかよし班」が4月からスタートしました。高学年を中心に、月に一度、長休み時間を使い、班のみんなで遊んだり、全体で班対抗の大会を行ったりしました。また、なかよし班でビーチクリーンをしたり、花や野菜の苗の植え付けや、収穫なども行ったりと様々な活動をしました。

顔合わせ会



各班で、リーダーを中心に会を進めていきます。

お互いの好きなことなどを紹介し、なかよし班でどんな遊びをしたいか等を話し合いました。

フラワーデー



朝の時間に、なかよし班で、レタスやじゃがいもの植え付けやお世話、収穫などを行いました!収穫したレタスは一人一人お家へお土産です。



なかよしタイム



毎月1回、昼休み時間に、各班が計画した遊びをします。ドッチボールやおにごっこ、トランプや伝言ゲームなど様々です。遊びが終わったら振り返りをし、みんなの思いを共有します。

IV. 研究実践の成果と課題

1. 成果

- (1) 学校全体で、SDGsに取り組むことで、各教科や行事など、SDGsの目標とのつながりを意識できるようになった。
- (2) これまでの取組がSDGsと様々なつながりがあることを確認できた。
- (3) 児童会活動など、自主的な活動が活発になった。
- (4) 地域の方を巻き込むことで、子ども達の活動に賛同し、協力する方が増えている。
- (5) 子どもたち自身が、地域の海や文化、平和、伝統的な物などに目を向け、それらを守っていききたいという意識が芽生えた。
- (6) 全学年、「ふるさと」の良さに気づき、自分たちにできることは何かを考え、行動につながることもできた。

2. 課題

- (1) 自分事として、家庭などでも実践・行動する力を育てたい。
- (2) 意識を持たせることができただけでなく、それらを継続して実践に繋がられるようにしていく。
- (3) 主体的に課題を設定して、主体的な児童の活動や子どもにゆだねるような学びの展開を実践していく。